

2018年5月23日

各位

京都薬科大学

本学客員教授の電子メールアカウント不正利用について

このたび、本学客員教授1名の電子メールアカウントが不正利用され、不特定多数の方へメールが送信されていたことが判明しました。

関係者の方々に多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、本事案の概要についてご報告申し上げます。

1. 不正利用の内容

(1) 不正利用の期間

2018年4月19日から5月11日まで不正利用記録を確認しました。4月19日以前は、アクセスログが残っていないため特定できませんでした。

(2) 不正利用により生じた被害

少なくとも3,699件の不正な電子メールが送信されていることを確認しました。なお、本学が保有するデータ等の漏洩や情報システムへの侵入、情報漏洩や改ざんは認められていません。また、当該客員教授は本学保有データへのアクセス権を所有していません。

2. 原因

情報システムへの侵入等による漏洩は認められませんでした。当該客員教授1名のパスワードが外部に漏洩したと考えられます。

3. 緊急対応

当該客員教授のアカウントを停止しました。また今回の事案を受けて、全職員および全学生のメールアドレスのパスワードを一斉変更します。なお、今回の事案を受けて、本学職員および学生に対してパスワード管理を厳重に行うよう注意喚起を行いました。

本学としましては、今後このような事案を起さぬよう職員および学生への情報セキュリティ教育を徹底するとともに、技術的な対策を早急に検討・実行し再発防止に努めてまいります。

以上

【本件問合せ先】
事務局情報管理推進室
Mail : infoadm@mb.kyoto-phu.ac.jp